

町民と議会をむすぶ

町議会 だより

 池田町

VOL. 06

平成30年8月1日発行

【主な内容】

町政を問う

- 耕作放棄地対策は、林業振興は …… 2～3
- ママ・ケア事業創設、農ある田家会議計画 …… 4
- 屋根雪融雪事業の結果は …… 5
- 計画性をもった予算づけを …… 7
- 冠山峠道路の進捗状況 …… 8



星に願いを
子どもの声を
未来に



町政を問う

議会初日に行われる一般質問で、議員は執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて「所信や疑問をただす」、または「報告や説明を求め」ています。

一般質問



和田 義則 議員

丹南地域発展のための道路整備を

丹南地域の主要幹線道路である国道417号は、平成34年度から36年度にかけて冠山峠道路、板垣坂バイパスが開通する見通しである。

しかし越前市の旧今立町内市街地で再整備が必要な箇所がある。

丹南広域圏全体の振興のための交通体系を考えるべきであり、早急に国、県へ整備の要望すべきと思う。

丹南広域組合や国道417号改良整備促進期成同盟会での更なる取り組みを望む。

町長 越前市内における国道417号の改良促進については、基本的に越前市が主体的に要請活動に臨まれることが前提であると考

えている。

また、沿線の自治体で構成されている、改良促進同盟会においては、それら越前市の要請や活動によって、対応されるものと考えている。

和田議員

国道417号は福井県と中京を結ぶ大幹線道路であり観光や商業活動に必要な道路である。丹南地域の首長が集う場で議論し、取り組んでもらいたい。



新幹線の効果について

平成34年度にも北陸新幹線の金沢・敦賀間が開通する。南越前などがどのような形で整備されるのか、池田町へのアクセスはどうなるのか、観光客をどのように誘導するのか、町民はどのように対応するのか等見えてこない。

町は新幹線の池田町への効果についてどのように捉えているのか。

町長

新幹線が開業してから、また、冠山トンネルが開通だから、だから特別に何かをとは思っていない。今取り組んでいることは、様々な種類の事業の質を上げていくこと、またまちの課題解決に向け、町民総員をもって立ち向かう土壌を見せることが出来れば、おのずと人々が集うものと考えている。言い替えば、「住みたくなる町」を目指し、誇れるまちづくりが出来れば、おのずと「訪れたくなる町」となると考えている。

耕作放棄地に対し町の積極的対応を

耕作放棄地予備軍は、中山間地の山際の水田や集落内の畑等に多く見られる。田の規模は小さく、耕作者の高齢化に加え、水路の管理が出来ず、耕作をあきらめざるを得ないのが現状である。

の支援を求めながら集落や地域をあげた追い払い活動と連携し、駆除活動の強化を推進したい。

畑は黒い防草シートが毎年じわじわと宅地に向かって攻めてきている。耕作者の減少と反比例して猪などの獣害は増える一方である。

また、高齢化に伴う耕作者の減少化対策については、集落自治機能の再興を促す支援事業の活用を推進するとともに、「環境的保全農地」「生産的保全農地」の生産モデルを提案しながら農地保全を図って参りたい。

放棄した土地を個人が守るのか、地域で守るのか誰が管理すべきかの結論は出せない。町の対応策はどうか。

町長

町としても、また社会的にも大きな課題として認識している。獣害対策については、防護柵補助や駆除活動の促進、補助の充実を図り、里山保全などの耕種の防護活動を推進しているが、決定的な効果を得られない状況です。

町として、引き続き国、県



一般質問



宇野 邦弘 議員

問題多いが、森林経営管理法を契機に本格的な山と林業の再生を

森林環境税導入に伴う森林環境譲与税の町への配分額はどれくらいか。

今国会で森林経営管理法が決められたが、これは、50年以上経過している人工林は伐採時期であるとして所有者に伐採責務を課すもの。町が作る伐採計画に従わない所有者に対して、半ば強制的に伐採を強いる仕組みを持つもの。林業関係者も懸念を示している。今求められるのは、伐採を急がせ

ることではなく、より意欲的に林業経営に取り組めるような環境整備、長期的・継続的な経営計画ではないか。針葉樹一辺倒の林業政策から、広葉樹の再生など総合的な林業政策に転換することが求められる。これが獣害対策にも繋がるのでは。

農協や森林組合の合併は急ぐべきではない

池田町にとって農協や森林組合との連携は大事。合併は急ぐべきではない。員の要求から出たことではない。安倍政権のいう「農協改革」は、「農協つぶし」に繋がるもの。広域合併に

よってもスタンドやスーパーがなくなる事態も増えている。町長の見解はどうか。

町長

農協あるいは森林組合などは重要で大切な機能を有した組織だと認識している。

この法を契機に町として本格的な山の再生と林業振興に取り組むように。今から対応準備が必要だが、町長の見解は。

産業振興課長

森林環境譲与税は、来年から毎年1200万円が付与される。森林経営管理法が「半ば強制的に森林の伐採を求めるもの」とは認識してない。今後、所有者の意向調査等を適切に実施していく。

町長

課長と同じ認識。単純に伐採して出荷ということではなく、山林資源が循環できるモデル事業を検討している。森林組合との連携、林業振興について必要な処置は講じて行きたい。

国体ボランティア要請 強制にならないように

プレ国体に高校生がボランティアとして参加したが、当日はインターハイの予選のため、高校側は要請人数確保に苦労したと聞いている。今後本大会でも強制にならないように。

教育委員会事務局長

山岳連盟と町、県教委が協議し要請した。本大会では学校行事との関係を調整して無理にならないように要請したい。

部活など教育現場は変わったのか

昨年の指導死事件を受けて部活など教育現場は改善されたのか。当時の副担任や校長の処分について、町教委として何も言っていないのか。「まうるいテンプル会議」や、総合教育会議の議事録公開を。

教育長

学校の部活以外の例えばスイミングスクールでの活動等は部活として認めることにした。部活動での町外活動には二名以上の教員が引率として同行することとしている。

生徒一人一人に対し深く考えむきあう姿勢、保護者とともに、子どもを成長させていこうとする意識の強



町長
施政方針

教育環境向上化プラン
の実施状況

本年4月から「教育企画官」を任命、設置。
児童生徒、教員、保護者から意見や要望を聞く「気がかりハートシート事業」は6月実施。関係者が一堂に会し教育子育て環境について意見交換を行う「まぐろいテーブル会議」は8月中に1回目を開催予定。教育大綱改訂作業は1回目を7月末に予定。

子育てをサポートする
「ママ・ケア事業」を創設

妊産婦の健康管理と胎児の健やかな成長を支援するため、妊産婦の医療費無料化する。母子手帳の交付から出産後1年間、歯科等産婦人科以外も対象。

農業・農村振興プラン
実行に向け取り組み開始
「農ある田家会議」

農業者の技術や情報の共有、行政との連携を図る組織として、7月から旧盆にかけ発足。

文教経済常任委員会

質 疑 応 答

長寿命化工事は
いつまで行うのか

問 下水道事業の長寿命化工事は、全体のどのくらい終わっているのか。まだ続くのか。
答 平成26年度に長寿命化修繕計画をたて、平成30年度までの工期5年間であったが、協議の結果平成32年度まで延ばした。

町の除雪機の拡充は

問 除雪機のロータリー車2台購入となっているが、新規、更改のどちらか。
答 現在4台保有しているが、2台購入し1台廃車して。合計5台で対応することになる。

収益性の高い農業機
械とは

問 地域農業振興費、収益性の高い農業機械2台とあるが、どのような機械なのか。
答 耕畜連携で循環型農業の振興として、刈り取った飼料わらを丸める細断型ホールクロップ収穫機1台と、大豆とそば

の刈り取りのコンバイン1台を購入するものです。

まちの駅近くの中大
橋の工事はいつ行
うのか

問 中大橋の橋台2基は引き続き上部も行うのか。予算的な見込みはあるのか。
答 道整備交付金事業で、5年間の間に事業費を確保し実施していく。

水海の畜産基地の
臭気対策は

問 畜産基地の臭気対策シートの耐用年数は。
答 鶏舎で利用した例では、分解でなく吸着するだけである。耐用年数は調べられていない。効果、メンテナンスについては実験的に検証していく予定です。

融雪・克雪住宅モ
デル推進事業の結果
報告は

問 克雪住宅モデル推進事業の結果報告を求める質問を3月議会で行ったところ、6月までに結論をだしたいとの答弁であったが、今まだ続くようであるがどうなっているのか。
答 29年度で区切りをつけようとしてある。30年度の繰越金をもって調査研究は区切りとしたい。

県の研究結果を採用し実証したが、池田の屋根勾配に合わなかった。大型屋根で実証し効果が出れば、最終成果として、今年の冬を越した段階で報告書としたい。

農業委員会は、ど
のように変わるのか

問 農業委員会の体制は、どのようになるのか。
答 現在、農業委員会は10名で構成されているが、今後は農業委員6人、農地利用最適化推進員は4人としていく。もと

役割を分担し、業務の整理を行ったものです。

図書館再整備
基本構想の中から

問 新図書館基本構想の建設スケジュールの説明を。現の図書館はどうするのか。
答 構想ではあるが、新図書館の建設スケジュールは、平成30年度実施設計、31年度建設工事、32年度新図書館オープン予定をしている。
現在の図書館の活用方策として、郷土資料室、古文書収蔵室などを検討中です。

予算書・決算書に
よる詳細な説明資料を

要望 予算書・決算書により具体的な内容を記入していただきたい。

主 要 事 業

金額千円未満は切り捨て

- ママ・ケア事業（妊産婦医療費無料化事業）に 50万円
- 農業振興のための機械購入補助として（汎用コンバイン他） 1089万円
- 水海畜産基地臭気対策設置に 585万円
- 除雪ロータリー車2台の購入経費として 9400万円
- こっばい屋リニューアル経費補助として 680万円
- 農村 de キャンプセンターグランド排水性向上及び施設等機能強化に 1293万円
- 定住促進のための住み家支援事業として 700万円

総務厚生常任委員会

質 疑 応 答

龍双ヶ滝の防護柵設置は

問 龍双ヶ滝の防護柵については耐久性のあるものを考えているか。

答 環境色（アースカラー）で塗装した金属製の防護柵にする予定。また一部の防護柵は取り外しができるようにして降雪箇所とすることを想定している。

意見 積雪が多いところであるため、そのままにしておくとお破損してしまう。冬場の管理についても検討してほしい。

里山ビジネス推進事業補助金及び池田町起業支援補助金の内容は

問 里山ビジネス推進事業補助金と池田町起業支援補助金について補助対象者は決まっているのか。

答 ある法人から相談があり、まもなく審査を開始する予定である。里山ビジネス推進事業補助金は県の補助事業である。3分の1の補助額についているのか。

冠荘の入館料、宿泊料などの料金改定は適正か

問 地元集いの場でもある。町民のみ、料金を据え置くなどの措置はできないか。

答 近隣施設の料金を見ても安い設定となっており、消費税の引き上げもある。町民だけの料金設定は難しい。割安になる回数券などの利用をお願いしたい。

【改定後の入館料】

※そのほか宿泊料等も改定

大人（中学生以上）	500円→600円
子ども（3歳以上小学生未満）	200円→300円

木の里工房に整備した機械は活用しているのか

問 木の里工房に整備した機械類の活用がされていないという話があるが事実か。活用についての方策は検討されているのか。

答 機械の活用状況について確認する。

て財源の中に150万の県支出金を計上している。池田町起業支援時補助金については全額町単費であり、500万円以上の事業について70%を上限に補助を行うものである。両補助金ともに、満額を計上している。

問 起業支援の対象は

答 新しい事業を起こす施設を改良して新しい事業を行う既設のものについても条件が合えば補助を行うものとなっている。

商工観光費の工事請負費の内容は

問 商工観光費の転落防止柵設置場所はどこか。

答 住宅団地と児童館との間にある深さ2m程度の用水路、また山田側のブロック積みの箇所が田んぼとの落差が2m程度となるため転落防止柵を設置する。

問 近くのUターン住宅隣の歩道が荒れているが補修は

答 今年度国体までに歩道の舗装修繕を完了する予定である。

ツリーピクニック アドベンチャーいけだの 総合整備計画策定の内容は

問 辺地総合整備計画は今後30年度以降も計画を具体化して計画自体を変えていくということか。

答 計画を変更して議会に提出をする予定である。現在の計画は30年度当初予算で計上したもののみである。

問 30年度は8000万円

計上してあるが、これに危険を指摘されている法面の整備費もはいつているのか。法面整備費は賄えるのか。

答 30年度では最も危険である法面の整備費1300万円程度を含んでいる。十分であると考えているが天候等による状況変化があればその時に提案を行いたい。

問 当初予算で予算を決定して、6月議会になって総合計画の策定をあげるという

子育てしやすい町へ ママ・ファースト運動

地域ぐるみで子育てを見守り、応援する町を目指した取り組み。子どもたちが健やかに育つ手助けとなるよう、新設のママ・ケア事業を含む子どもの医療補助制度のほか、環境整備としてママ優先駐車場の設置、授乳室の整備が進められている。

授乳室が整備されている施設

- ・おもちゃハウス
- ・こどもと木
- ・わくうぼ



ママ・ファースト運動の周知徹底を

問 新規のママ・ケア事業を含む各種子育て支援事業について、町民だれもが知れる機会が設けられているのか。冊子を準備するなどPR等を行っているか。

答 相談者に対してお渡しできるとともに、HPでも案内をし

地域おこし協力隊等の処遇の考え方は

問 地域おこし協力隊について、配属後の希望による配置転換などの取り組みは行っているのか。また資格獲得などで賃金への増額等は行っているのか。



たいため急いでしまった。中長期計画で終了時点を決めたやり方をするべきだった。

意見 今回の計画も30年度分だけとなっているが、また来年度も同じようにするのか。5年間などの計画を策定して行うべきではないか。池田町は計画性がないとい

われてもおかしくない状況である。きちんと計画を練り、それに対して予算を計上するというやり方をしていただきたい。

足羽川ダム工事事務所

福井県土木部河川課



ダム工事の進捗状況

- ・平成30年度の事業予算は約52・4億円
- ・30年度も引き続き、ダムの早期完成に向け、ダム本体、水海川からの導水施設、付替道路関係の地質調査、測量及び設計業務等を実施
- ・過年度より12件の工事が継続施工中（H28年度発注5件、H29年度発注7件）
- ・平成30年度は、現時点で2工事について契約済み、4工事が契約手続き中、2工事については発注準備中
- ・水海川導水トンネル工事は6月21日現在約480m掘進中



橋脚工事

池田町地域振興策の進捗状況

平成30年度事業

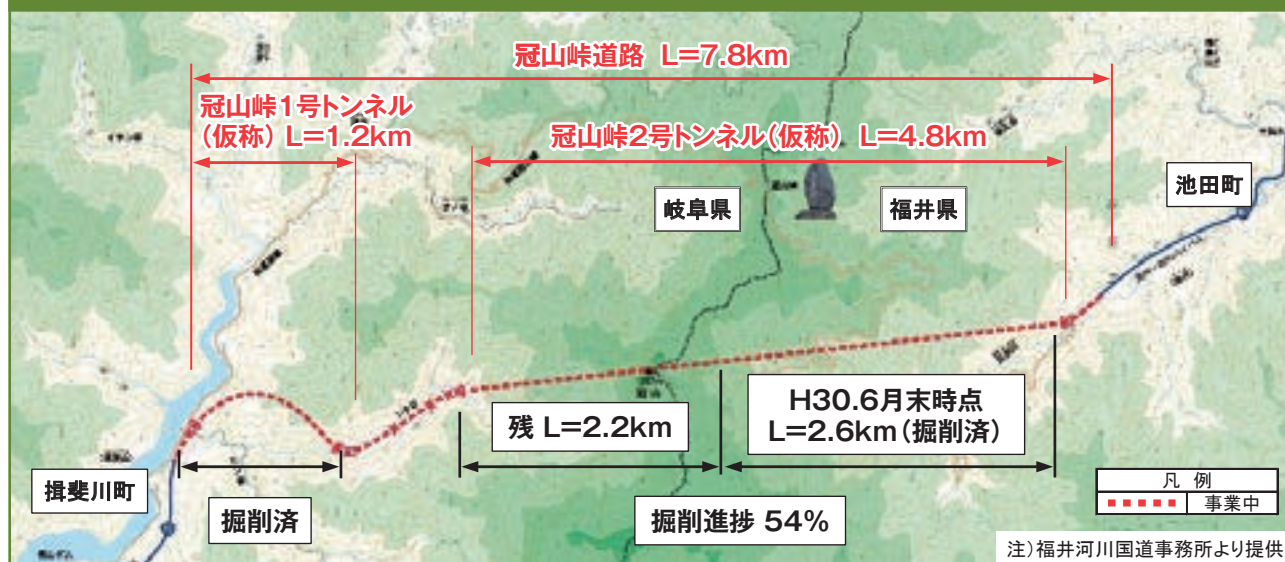
◎国道417号道路改良事業
板垣坂バイパス
(平成36年度供用開始を目指す)

- ・越前市側で丈量測量立会
- ・地質調査、道路詳細設計、トンネル詳細設計、橋梁詳細設計、丈量測量、物件調査を実施中
- ・用地取得・物件補償の後、付道路部分の工事を予定

- ◎国道476号道路改良事業
白粟バイパス
- ・国の交付金事業として事業化される
- ・平面測量を実施中
- ・路線測量、地質調査、詳細設計、丈量測量を予定

- ・国道の交付金事業として事業化される
- ・平面測量を実施中
- ・路線測量、地質調査、詳細設計、丈量測量を予定

国道417号 冠山峠道路の進捗状況（平成30年6月末現在）



編集後記

7月の初め、議会広報の研修会の中で、「議会だよりは、更に町民目線で編集すること」「議会だよりは、教育教材に使われるように編集すること」と学んできた。

議会はどんなところ、何しているところかを「見える化」していくと始まった議会だより。

伝える議会だよりから伝わる議会だよりと今回編集してきました。

(飯田茂治)

表紙のことば

なかよしこども園の園児たちは、七夕まつりを笑顔いっぱい楽しんでいました。

議会広報特別委員会

発行責任者

議長 佐野 和彦

委員長 和田 義則
副委員長 三ツ本 一雄
委員 飯田 茂治
委員 宇野 邦弘